名古屋電気学園 クラブ活動だより

愛知工業大学
愛知工業大学名電高等学校
愛知工業大学名電中学校
愛知工業大学情報電子専門学校

令和２年秋季版

（令和２年 11 月 15 日）

高校ダンス部全国８位（スモールクラス）

ビッグクラスも初出場

第 13 回日本高校ダンス部選手権（８月１８、１９日・パシフィコ横浜）に出場した高校ダンス部が、２人以上 12 人以下で編成するスモールクラスで、過去最高となる８位の成績を収めました。初出場したビッグクラス（13 人以上 40 人以下で編成）でも１８位の成績を収めました。

第13回日本高校ダンス部選手権スモールクラスで８位に輝いた高校ダンス部（写真は産経新聞提供）

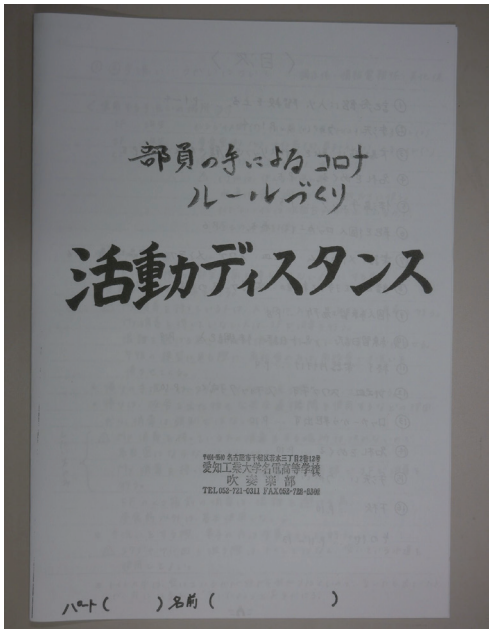
本校は、スモールクラスにはオーディションで選定した１０人のチームで出場し、東海・北陸地区大会で初優勝。全国大会に通算５回目の出場を果たし、初の優秀賞（ベスト８対象）を獲得しました。ビッグクラスには希望者２５人のチームで出場し、東海・北陸地区大会で準優勝して全国大会初出場を決めました。

コロナ禍により６月に再開した部活動では、例年より２か月練習期間が短いうえ、３密を避けるために屋内の練習場所も満足に使用できず、体育館の割り当て日（週２日）以外は中庭で練習に励みました。活動のない日は個人で基本練習や動きの確認を行い、活動時にはコーチから新しい課題を次々と与えられ、限られた時間内で集中して完成度を高めました。

ビッグクラスも全国大会初出場

２０１２年に同好会として発足したダンス部は、２０１８年から総数 100 人前後の大所帯になり、２０１９年に部に昇格。そして今夏、２チーム同時の全国大会進出の夢をかなえました。顧問の清水隆博教諭らは「競技を本気で愛し、楽しむことができれば、苦しみさえも忘れて本気の練習ができる。そして短い練習時間でも皆で気持ちを一つにして取り組むことで、素晴らしい結果を出すことができる。そのことを生徒たちは示してくれました」と話しています。

コロナ禍の部活



高校吹奏楽部の部員たちが独自に取りまとめた感染防止ルール集「活動ディスタンス」

学園設置校でもコロナ禍によって部活動の制限を余儀なくされ、発表の機会が失われています。そんな中、部員たちは独自に感染防止のルール集を取りまとめるなど、モチベーションの維持に努めています。

ルールに従い、立ち位置と方向を決め間隔をあけて練習する高校吹奏楽部員たち

競技によって、代替となる大会が開催されました。高校サッカーでは７月、全国高校総体・同愛知県予選の中止を受けたCopa Aichi 愛知杯（岡崎城西高校サッカー部・名古屋高校サッカー部主催）が開催され、名電高校サッカー部など令和元年度愛知新人戦８強が力を競いました。名電サッカー部は初戦（愛工大名電１－０名経大高蔵）、準決勝（愛工大名電２－１中部大第一）と勝ち上がり、準優勝（決勝は岡崎城西５－０愛工大名電）の成績を収めました。

コロナ禍の部活

夏の高校野球（甲子園）愛知県代替大会となる夏季愛知県高校野球大会（愛知県高校野球連盟主催）は７月４日～８月１０日に開催されました。名電高校野球部は初戦の同朋戦（７月５日）から順調に勝ち上がり、五回戦（８月２日）で至学館と対決して息詰まる投手戦になりました。延長十回に２点先取しましたが、同回裏に勝利まであとアウト一つとしたところで、まさかのサヨナラ負けを喫しました。

高校総体代替大会の愛知県高校フェンシング大会（１０月１８日・鳴海高校）では、名電高校フェンシング部の男女選手が個人戦でアベック優勝を飾りました。種目は、男女ともフルーレ。１年男子個人で堀智貴選手、１年女子個人で山田ひなた選手が、それぞれ頂点に立ちました。

名電高校卓球部は９月２６日、実業団の協和キリンと世代を超えた練習試合を行いました。昨年度の全国選抜や今年度のインターハイなど、コロナ禍で出場の機会を得られなかった同部から、曽根翔、横谷晟、篠塚大登、吉山僚一の４選手が出場。４シングルスの団体戦を２回行った結果、２試合の合計 4-4 の引き分けでした。卓球ファンには久々の白熱した対戦の模様が、インターネット中継で生配信されました。

名電高校など高校吹奏楽部の強豪５校が参加する「吹奏楽エールコンサート２０２０」が１０月２５日、名古屋国際会議場で開催されました。「吹奏楽の聖地」となった同会議場が、コロナ禍で発表の場を失った同世代の吹奏楽部員やファンにエールを送ろうと企画したもので、熱い演奏の様子が YouTube で配信されました。

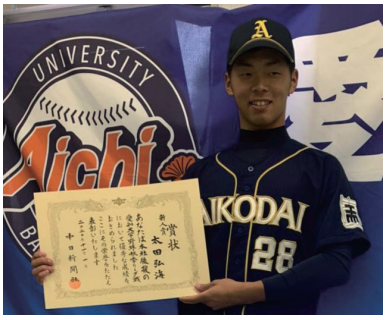
大学野球秋季リーグ、優勝逃す

愛知大学野球連盟秋季リーグ戦は感染症防止対策を講じて開催され、１部リーグで本学硬式野球部は３位の結果でした。今季の１部リーグは本学と中京大、名城大、中部大が終盤にかけて首位を争う展開になりました。本学は最終カードの中部大戦（10月３～５日）で負け越して優勝の可能性がなくなり、結果は８勝５敗・勝点３で３位の成績でした。

ベストナイン、新人賞

１１月１日、パロマ瑞穂野球場で秋季リーグの表彰式が行われ、本学の尾濱徹捕手（４年）が３季連続となるベストナインに輝いたほか、４勝を挙げた太田弘海投手（１年）が新人賞を受賞しました。

ベストナインの尾濱徹捕手



新人賞の太田弘海投手

大学管弦楽団　第２３回定期演奏会

美しい演奏を披露した第23回定期演奏会

大学管弦楽団の第23回定期演奏会が９月27日、愛知県芸術劇場コンサートホールで開かれました。東海地方を中心に多くの演奏団体の指導に当たる中村暢宏氏を今年も指揮者に迎え、C. M. ウェーバーの「魔弾の射手」序曲と、X. シャルヴェンカの交響曲を演奏しました。

シャルヴェンカの交響曲は、めったに演奏されることがない曲で、そのたぐいまれな美しさが聴衆に深い感銘を与えました。新型コロナウイルス感染症の流行下、当初は団員の中にも中止した方がよいのではないかという声がありましたが、十分な安全対策を施し、団結して無事にレベルの高い公演を成功させたことは、中部地区の他大学の学生オーケストラからも高く評価され、有意義な体験となりました。

大学卓球部から学園に寄付

新型コロナウイルス感染症拡大防止の諸策に取り組む学園に対し、９月１５日、大学男女卓球部員の保護者一同をはじめとする部関係者から１００万円の寄付が寄せられました。

この日は松山祐季男子主将（４年）のお父様である松山賢一さんから、後藤泰之理事長に寄付の目録が手渡されました。鬼頭明卓球部総監督が、寄付の趣旨について「コロナ禍でも充実した学生生活を送ることができ、日ごろの多大な支援に対する感謝の気持ちとして」と説明し、後藤理事長はお礼を述べるとともに、「こういう時だからこそ気持ちが折れないようしっかり練習に取り組んでほしい」と激励しました。

寄付の目録を後藤泰之理事長に手渡す松山賢一さん（左）

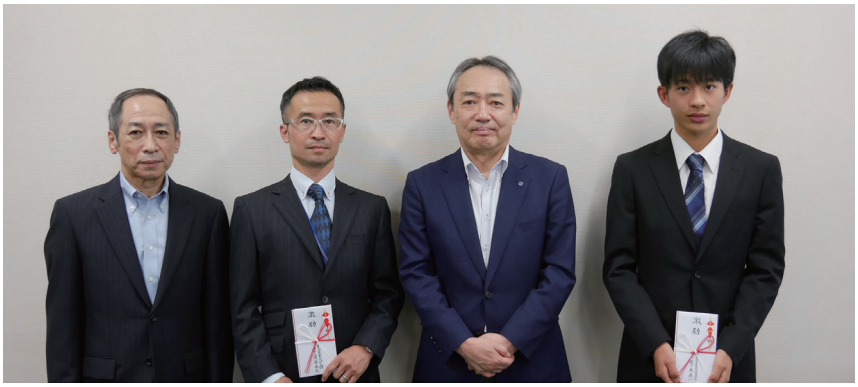
大学生の主な対外競技成績

【囲碁・将棋部】
▼全日本学生本因坊決定戦愛知県予選（6/21）個人戦 1 位
【ライフル射撃部】
▼第 28 回西日本女子学生スポーツ射撃選手権大会（9/4 ～ 6）個人 AR60W　7 位
▼ 2020 年度全日本選抜ライフル射撃競技大会（10/24 ～ 25）個人 AR60W　41 位
▼県射撃選手権大会（11/8）個人 AR60W　1 位
【陸上競技部】
▼秩父宮賜杯第 52 回全日本大学駅伝対校選手権大会東海地区選考会（9/22）総合 2 位
【ヨット部】
▼ 2020 年度秋季中部学生ヨット選手権大会（9/26 ～ 27）団体 470 級優勝
▼ 2020 年度中部学生ヨット個人選手権大会（10/10 ～ 11）個人 470 級第 2 位
▼ 2020 年度中部 470 級ヨット選手権大会兼中部スナイプ級ヨット選手権大会（10/3 ～ 4）
　個人 470 級第 8 位
【フェンシング部】
▼令和 2 年度関西学生フェンシングリーグ戦、関西学生フェンシング選手権大会代替試合（10/15 ～ 18）
　団体　エペ・ベスト 8、サーブル・3 位、フルーレ・ベスト 16
【卓球部】
▼ 2020 年度東海学生卓球秋季リーグ戦（10/23 ～ 24）1 部リーグ男子優勝、1 部リーグ女子優勝

クラブ表彰

　学園は９月～１０月にかけ、全国大会に出場の各クラブに対してクラブ表彰を行い、後藤泰之理事長が激励しました。愛名会や高校同窓会、高校ＰＴＡからもお祝いが贈られました。
【９月７日の表彰】
▼高校ダンス部
第 13 回日本高校ダンス部選手権

【１０月１５日の表彰】
▼大学陸上競技部
天皇賜杯第 89 回日本学生陸上競技対抗選手権大会（男子 1500m）



（右端が 1500m 出場の経営学科4年・小林宏輔選手）

発行　学校法人名古屋電気学園愛名会